

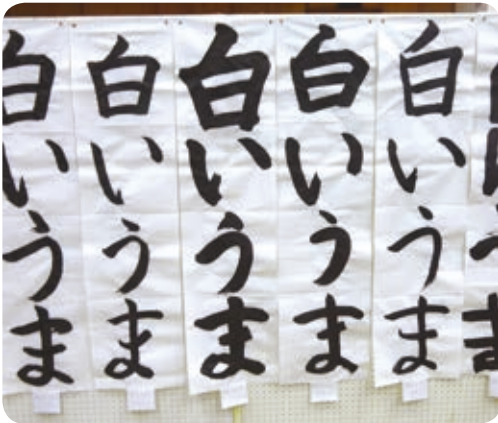


市民との交流 Photography



1月2日、市体育協会主催の新春走り初めが香北町で行われ、140人の市民が参加しました。

香北支所を出発し、大川上美良布神社で1年の健康とスポーツ事故防止を祈願する1.2kmのコースで、神社ではおみくじやお守りが配られました。



1月19日、凧揚げ大会が物部町の旧大栃高校グラウンドで行われました。物部町内で誕生した子どもの祝い凧や大凧、大栃保育園の園児が作った子凧揚げが実施されました。今回で20回目を迎え、お餅や七草がゆも振る舞われました。寒い北風が吹く中、親子で仲良く凧上げに挑戦し、元気な子ども達の歓声が山里にこだましました。

1月5日、第8回新春書き初め大会が中央公民館で行われ、4歳児から70歳まで83人の市民が参加しました。岡崎桜雲先生のお話では、「練習なしの1発勝負なので、精神集中が必要、胆力の養成になる。また、手書きには意志が伝わるすばらしさがある」とのことでした。この大会は土佐山田町で始められ、半世紀近く続いているそうです。

新年は穏やかな天候での幕開けだった。しかし、年明け早々の冷凍食品への農薬混入問題では、改めて「食」について思いあぐねることとなった。ついこの前も不当表示、産地偽装と騒がれたばかりである。

私たちは生身の人間であるということ意識して、食事を摂らなければと感じたことである。

ところで、昨年11月発行の「議会だより」から紙面をリニューアルした。出来るだけ字数を減らして割り付けも工夫してみた。今号からは市民との交流コーナーも設けたが、皆様にはどのように読んでいただけるだろうか。今年も「伝わる」「読みやすい」を心がけて編集していきたい。

末筆ながら、この一年の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

(大岸 眞弓)

編集後記